

# いま、問い直す NPOと行政のあり方

民主党政権は、「新しい公共」を担うNPO等への基盤整備を進めるため、「新しい公共支援事業」を実施しています。しかし、事業終了後、NPO等の民が「新しい公共」を担えるまで発展できるかは不透明です。一方、大阪市は5月11日、「新しい住民自治の実現に向けて」と題する市政改革案を発表。公共を担う活力あるまちづくりのために、NPO等の役割を期待する半面、施策や事業の見直しに伴い、これまで提供されてきたNPO等への予算は大鈍を振るうところも見られます。行政だけでなく、民=NPO等も公共を担うという方向性は一致していても、両者はどのような関係性の下で進めていくべきなのでしょう。この問いをテーマに、政府と民のそれぞれの立場のリーダーを招き、NPOと行政のあり方を考えるシンポジウムを以下のように開催することにしました。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このシンポジウムは、都市共生社会研究分野の入試広報の一環として実施するため、プログラム終了後、簡単な入試説明会を行わせていただきます。

- ★日時 2012年6月25日(月)  
午後6時30分から9時
- ★場所 大阪市立大学  
文化交流センター ホール  
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上
- ★講師 石毛えい子 さん  
早瀬昇 さん
- ★司会 柏木宏(大阪市立大学大学院教授)
- ★参加 無料 ★予約 不要



石毛えい子さん  
衆議院議員

日本女子大学福祉学科卒。飯田女子短期大学教員(社会福祉政策)をへて、1996年、民主党から東京比例区で衆議院議員に初当選。以降3期連続で当選。民主党政調副会長、人権・消費者ネクストキャビネット大臣などを務める。介護保険法の成立、障害者基本法改正をはじめ、児童虐待防止法制定などで活躍。2005年、総選挙で落選。2009年、衆議院選挙比例区(東京ブロック)で4期目の当選。現在、衆議院文部科学委員会委員長。NPO法人市民福祉サポートセンター代表運営委員、NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事など。著書に『福祉のまちを歩く』(岩波書店)ほか多数。

早瀬昇さん  
大阪ボランティア協会常務理事

京都工芸繊維大学工学部卒業。在学中、大阪ボランティア協会に拠点を置く「大阪交通遺児を励ます会」「誰でも乗れる地下鉄をつくる会」などでのボランティア活動に参加。1978年より、大阪ボランティア協会に勤務。1991年に事務局長、2010年退任。2007年から現職。現在、日本NPOセンター副代表理事、日本ファンドレイジング協会理事、「新しい公共支援事業」運営会議委員などを務める。また、2006年より関西大学経済学部客員教授。著書に『市民社会の創造とボランティアコーディネーション』(2009年、筒井書房)など多数。



## お問い合わせ

NPOをツールに共生社会の実現に向けて活動する人材の育成をめざす社会人大学院……

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>, E-mail: [info@co-existing.com](mailto:info@co-existing.com)